

J-クレジット制度  
排出削減プロジェクト・  
森林管理プロジェクト  
妥当性確認報告書

---

プロジェクトの名称：

(株式会社日鰻) 志布志養鰻場へのヒートポンプ更新事業

妥当性確認 機関名	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
--------------	--------------------------

発行日 2017年 9月 27日

## 1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センターの規程に基づき、検証機関とプロジェクト実施事業者及び審査員とプロジェクト実施事業者との利害相反分析を行い、利害関係のないことを確認した。

## 2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	株式会社 日鰻 代表取締役 山田 賢一
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	—
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし



	<p>範囲 ※妥当性確認の範囲がプロジェクト計画書の範囲であることを記載すること</p>	<p>プロジェクト計画書に記載された本プロジェクトに係る範囲</p>
	<p>保証水準 ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること</p>	<p>合理的保証</p>
<p>妥当性確認手続 ※現地審査の実施有無について記載すること ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/>現地審査を実施した（2017年9月15日に訪問） <input type="checkbox"/>サンプリングで現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問） <input type="checkbox"/>現地審査を実施していない</p> <hr/> <p>2017年9月15日に現地審査を実施し、当センターのチェックシートに基づき現地目視、根拠資料の確認、関係者へのインタビューを行った。</p>
<p>修正・指摘事項及び解決方法 ※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること</p>		<p>妥当性確認審査にて発見された排出削減量に影響を与える主な修正・指摘事項は、下記のとおりである。プロジェクト関係者から追加資料の提出、記載の修正等の対応により、当該事項全てが解決されたことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト実施後の主要排出活動の電力消費量に含まれていた再加熱用温水搬送設備の使用による電力消費量を切り離し、別途、付随的排出量として算定するよう指摘した。</li> <li>ヒートポンプ稼働開始後に冷媒系統の漏洩トラブルにより追加充填された冷媒の重量を、冷媒の充填量の算定値から削除することを指摘した。</li> <li>ベースライン排出量の算定計算に用いるプロジェクト実施前設備のボイラーの熱効率として、低位発熱量ではなく高位発熱量を基準とする数値を用いることを指摘した。</li> </ul>
<p>妥当性確認結果</p>	<p>確認結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>無限定適正      <input type="checkbox"/>不適正      <input type="checkbox"/>意見不表明</p>

	<p>意見・結論</p> <p>※4 における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること</p>	<p>当会は、株式会社日鰻が作成したプロジェクト計画書（プロジェクト名：（株式会社日鰻） 志布志養鰻場へのヒートポンプ更新事業）に記載された温室効果ガス排出量削減情報は、J-クレジット制度における実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に基づいて作成されていることを確認し、全ての重要な点において適正であると認める。</p>
--	--	---